

令和5年度第2回さぬき市図書館協議会 会議結果

- 1 会議日時 令和6年2月19日(月) 13:30~14:25
- 2 会議場所 さぬき市寒川第二庁舎2階第203会議室
- 3 出席者 [委員] 六車 弥千代 細川 昌宏 川田 礼子 石川 智治  
池田 洋子
- [事務局] 教育長・和田浩二 生涯学習課 課長・細川史朗  
志度図書館 館長・寒川芳紀 課長補佐・北野茂雄 副主幹 岡田美奈子  
寒川図書館 館長・中村淑子
- [傍聴人] 0人
- 4 議題 (1) 令和5年度さぬき市図書館事業中間報告について  
(2) 令和6年度さぬき市図書館事業計画(案)について  
(3) その他
- 5 資料 さぬき市図書館協議会資料  
参考資料 さぬき市図書館協議会委員名簿 さぬき市図書館条例 さぬき市図書館規則

6 会議要旨

発言者	意見概要等
(事務局)	(会議の公開等の取扱いについて説明した。)
(委員)	(公開することで了承された。)
(事務局)	本日の傍聴は、ありません。では、令和5年度第2回さぬき市図書館協議会を開会します。
(委員長)	(委員長挨拶)
(教育長)	(教育長挨拶)
(事務局)	(資料の確認をした。)
(委員長)	さぬき市図書館規則第2条第2項の規定により、司会の進行は池田委員長さんをお願いします。
(事務局)	それでは、「議題(1) 令和5年度さぬき市図書館事業中間報告について」事務局から説明をお願いします。
(委員長)	「議題(1)の令和5年度さぬき市図書館事業中間報告について説明」次に、「令和5年度さぬき市図書館運営状況について」、事務局から説明をお願いします。
(事務局)	「令和5年度さぬき市図書館運営状況について説明」
(委員長)	ただ今、事務局から説明がありました。質疑等がありましたら、お願いします。
(委員)	レファレンスサービスの対応件数はわかりますか。レファレンスサービスの対応件数も資料に入れて欲しいと思いますが、いかがでしょうか。
(事務局)	1月末のデータですが、志度は口頭が2,587件、電話が96件です。寒川は口頭と電話で154件です。
(委員)	レファレンスサービスの件数が多いですね。口頭というのは図書館にきて訊かれるのですか？

発言者	意見概要等
(事務局)	<p>そうです。中には根深いものもあります。レファレンスの内容は様々で、この本はどこにあるか、といったものから、このような内容が載っている本はあるか、など簡単なものから複雑なものまであります。</p>
(委員)	<p>資料について訊かれることはありますか。</p>
(事務局)	<p>あります。難しい内容の場合は県立図書館に訊くこともあります。</p>
(委員)	<p>また、レファレンスサービスのコーナーがはっきり分かるように表示されているといいのですが。</p>
(事務局)	<p>表には出してないですが、カウンターの後ろに書いてあります。</p>
(委員)	<p>分かりやすく表示してあると、ここの図書館ではサービスが受けられると分かってサービスを利用しやすくなると思います。</p>
(事務局)	<p>また、それだけレファレンスの件数があるのであれば、職員も忙しい中で対応しているのだから、件数を資料に載せてあげるといいと思います。</p>
(事務局)	<p>ではレファレンスの表示が見えるようにします。</p>
(委員長)	<p>他にありますか。</p>
(委員)	<p>この資料の4ページを見ますと、志度図書館の蔵書冊数が<b>59,855冊</b>になっているが、この5年間の蔵書数を比較すると、<b>2,000冊以上減</b>っているんです。いくら人口が減少しているといっても、他の同じ人口規模の市の図書館と比較すると蔵書冊数が少なく雲泥の差で、他の市は2倍ぐらいの蔵書があります。他の市はその蔵書を確保しているんです。蔵書の整理をしっかりしているのかも知れませんが、予算を取って蔵書の充実をぜひ図って欲しいと思います。</p>
(事務局)	<p>蔵書の冊数の件ですが、蔵書計画では志度図書館だと<b>57,000冊</b>となっていますが、図書館に何冊蔵書するといった基準は実はありません。この<b>57,000冊</b>というのは、志度図書館ができた時の棚のスペースの大きさで<b>57,000冊</b>としています。これを目安にして蔵書の数をコントロールしています。</p>
(委員)	<p>蔵書冊数が減っているということですが、数年前は、古い図書がたまってなかなか入れ替えができてなかった状態でした。3、4年前から計画的に古い本を廃棄して新しい本を分野ごとに入れるようにしています。蔵書の入りと出は図書館の血液と呼ばれていますが、全体の冊数は減っていますが、内容は新しくなっています。</p>
(委員)	<p>先ほども言いましたが、整理が行き届いているという解釈はできるのですが、やっぱり冊数は少ないですね。スペースの問題はあるかと思いますが、整理する前は<b>60,000冊</b>はあったのですから、図書館の開館時に蔵書<b>57,000冊</b>と決めたのかも知れませんが、貸出冊数も増えていますし、他の大きな市だと一人1回に<b>15冊</b>借りられます。さぬき市はいくらお願いしても、蔵書冊数が少ないから<b>5冊</b>、と聞いていますし、やっぱり私は蔵書冊数の増加を希望します。</p>
(事務局)	<p>その話は図書館内部でもよく話題になりますが、基本的に予算です。志度図書館だと予算は<b>350万円</b>ぐらいです。もっと予算が多ければ本は買えますが。貸出冊数についても議論がありましたが、新刊が特に少ないので貸出冊数を<b>5冊</b>から<b>10冊</b>にすると、新刊が棚からなくなってしまいま</p>

発言者	意見概要等
(委員)	す。
(事務局)	10ページの県立図書館からの取り寄せですが、これは蔵書を考える時の参考にしますか。
(委員)	参考にします。予算が限られているので、ないものはできるだけ相互貸借で借りて、リクエストが多くなると購入しますが、本の単価が上がっているため冊数が少なくなっています。予算は要求していますが、そのような現状です。
(事務局)	また、高い本は買えないので、県立図書館や高松市の図書館で借りています。だいたい1,600円から1,800円を基準にしていますので、高価な良い本はありますが購入を諦めて借りるようにしています。
(委員)	県立図書館で借りることが多いですか。
(事務局)	基本は県立図書館から借りています。県立図書館になれば高松市の図書館で借りています。
(委員)	全ての物が値上がりして書籍の値段も高くなっているため、そういう意味でも図書館の利用は一般市民にとっては非常に必要になっています。図書館の蔵書を増やすことにおいては、冊数が増えないというよりも値段が高くなっているのに予算が変わっていないことが問題だと思いますので、頑張ってもらって予算を獲得して欲しいと思います。
(事務局)	予算はいつから変わっていないのですか。
(委員)	いつからかは正確に言えませんが、近年は横ばいです。寒川図書館は、2/3は一般書、1/3は児童書でYAは残り、予算をそのように振り分けて、毎月コンスタントに購入しています。
(事務局)	YAの本は少ないですか。
(委員)	少ないですね。YAコーナーにある本になります。
(事務局)	YAも時代に応じた内容の本が必要で大事ですね。
(委員)	少ないながらも中高生を対象とした新しい時代の流れで出てくるものに関しては取り入れています。
(事務局)	児童図書はあまり変動がないです。1967年に出版された絵本がいまだに人気があります。YAというのは中高生が時代を捉えるものなので、蔵書が必要で考えていかなければならないと思います。
(委員)	例えば、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられた事に関する本を購入するなどしています。
(事務局)	志度図書館も寒川図書館も、受験に関する本の展示をされていたので、いいと思いました。手に取りたくなるような展示でした。1カ月間ぐらいされましたか。
(委員)	常設のコーナーなので、期間は定めてないです。
(委員長)	良いと思いました。
(事務局)	他にないようでしたら、「議題(2) 令和6年度さぬき市図書館事業計画(案)について」、事務局から説明をお願いします。
(委員長)	「令和6年度さぬき市図書館事業計画(案)について説明」
(事務局)	ただ今、事務局から説明がありました。何か質問等があればよろしくお願ひします。

発言者	意見概要等
(委 員)	図書館の講座がもっとあればいいと思います。入館者数などのデータで、例えば中高生が少ないのであれば中高生を対象とした講座を催してはどうでしょうか。県立図書館では、中高生を巻き込んだ講座を開催しています。講座を受講した中高生がおはなし会をしています。行事の内容が何年も同じ状況なので、何か一つ新しい行事をしたらどうかと思います。予算が問題でしょうか。
(事務局)	寒川図書館ですと、開催する場所が図書館内にありません。
(委 員)	志度図書館であれば場所はありますか。
(事務局)	志度図書館であれば場所はあります。
(委 員)	予算の都合はあるかと思いますが、ここが弱いというところに対する講座をしてみてください。高齢者向けでも良いですし、赤ちゃんや、若いお母さんが対象でも良いので、本を借りたり読むだけでない図書館であって欲しいと思います。
(委員長)	他にありませんか。ないようでしたら、「議題（３）その他」について何かありますか。
(事務局)	意見箱については、今年度については（第1回の協議会以降）志度図書館も寒川図書館も現時点ではご意見をいただいております。
	改善点として、志度図書館には屋外用の休館日を知らせる看板がなかったので、簡単な看板を設置するようにしました。予算がついたら正式な看板を設置したいと思います。
(委 員)	屋外の看板は必要と思いますので、ぜひお願いします。
(委員長)	他にありませんか。
(委 員)	寄贈本は、ハードカバーでないといけませんか。
(事務局)	ハードカバー限定ではないですが、本によっては受け付けられないものもあります。
(委 員)	文庫本でも大丈夫ですか。
(事務局)	大丈夫です。基本、発行から5年以内の新しい本を受け入れています。
(委 員)	分かりました。
(委員長)	他にありませんか。
(委 員)	監視カメラは図書館に何台ありますか。
(事務局)	志度図書館は2台、寒川図書館は3台です。
(委 員)	先々週に志度図書館へ行ったところ、ふれあいコーナーや外に中学1年生が30人ぐらいおりました。何をしているか見てみると、ゲームをしていました。図書館が交流の場になっているのは良いと思います。さぬき市の教育目標として読書の興味を増やしていこうというのがありますので、一緒に考えていきたいと思っています。
(事務局)	テスト発表になると中学生がたくさん来館しています。
(委 員)	図書館によっては勉強ができる場所とできないところがありますが、さぬき市の図書館はどうですか。
(事務局)	志度図書館も寒川図書館も社会人用の席と自主勉強用の席を分けていますので、自主勉強できます。
(委 員)	学校の授業参観日に合わせて志度図書館から絵本専門士の方にブック

発言者	意見概要等
	<p>トーク・ストーリーテリングに来ていただきました。保護者も一緒に残って参加される方がいて、絵本の世界を堪能できて嬉しかったという話がありました。朗読グループどんぐりさんにも来ていただいてオオカミをテーマにしたおはなし会などもしていただき、子ども向けの読み聞かせはもちろん良いですが、保護者も巻き込めたらなおいいのではないかと思います。今年実施してとても良かったので来年も計画したいと思っています。ありがとうございました。</p>
(委員)	<p>高校生の職場体験は全然ないですね。</p>
(教育長)	<p>そうですね。ないですね。</p>
(委員)	<p>職場体験は中学生以下という方針ですか。</p>
(教育長)	<p>市の教育委員会としてそういう方針は出してないです。高校生から応募があれば応えるよう対処はします。</p>
(委員)	<p>インターンシップであれば高校生が申込みと思いますが。</p>
(教育長)	<p>そうですね。</p>
(委員)	<p>図書館見学であれば、高校生も含むべきと思います。</p>
(教育長)	<p>高校生に見学に来ていただいても何ら問題ないと思っています。</p>
(委員)	<p>また、図書館利用者を年齢別でみると、60歳以上が全体の1/3を占めています。子どもの利用率を上げることは非常に大切なことですが、大人がまず読まない、子どもはついてこない、大人の利用も考えないといけないと思います。</p>
(委員)	<p>大人の利用については、年齢別の講座をすると良いと思います。例えば健康をテーマにした講座も非常に意味があると思います。ぜひ講座関係を充実させて欲しいです。</p>
(委員)	<p>年齢別貸出状況を見ると高校生はとても少ないです。もう少しその辺りを考える必要があります。高校生が大人になった時点で本を読まない、その子どもも読まないと思います。</p>
(委員)	<p>図書館の行事の計画を立てる時に、利用者数も気に掛けて考えるといいのではないのでしょうか。図書館に足を運んでもらうことから考えたら良いと思います。いろいろな試みをしたら良いのではないのでしょうか。</p>
(委員長)	<p>他に何かありませんか。なければ本日の議事は終了させていただきます。</p>
(事務局)	<p>池田委員長さん、議事進行ありがとうございました。 (委員長あいさつ)</p>
(事務局)	<p>以上で、令和5年度第2回図書館協議会を終了します。</p>